

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 1 日 (2012.11.1)

【公表番号】特表 2011-521047 (P2011-521047A)

【公表日】平成 23 年 7 月 21 日 (2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報 2011-029

【出願番号】特願 2011-509170 (P2011-509170)

【国際特許分類】

C 0 8 L 27/16 (2006.01)

C 0 8 F 214/18 (2006.01)

C 0 8 K 5/16 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 27/16

C 0 8 F 214/18

C 0 8 K 5/16

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 13 日 (2012.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) フッ化ビニリデン (a 1) と、テトラフルオロエチレン、ヘキサフルオロプロピレンおよびパーフルオロ (アルキルビニルエーテル) よりなる群から選ばれる少なくとも 1 種のパーフルオロオレフィン (a 2) と、シアノ基含有単量体 (a 3) との共重合体であるフッ化ビニリデン系エラストマー (ただし、フッ化ビニリデンの共重合割合は 20 モル % を超える)、および

(B) 硬化剤として 40 ~ 330 でアンモニアを発生させる化合物のみを含む硬化性組成物であって、

該アンモニアを発生させる化合物 (B) が、尿素、尿素誘導体、無機アンモニウム塩、またはカルボン酸、スルホン酸またはリン酸よりなる群から選ばれる酸の有機アンモニウム塩またはこれらの 2 種以上の併用を含む硬化性組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載された硬化性組成物を硬化させて得られる成形品。

【請求項 3】

酸素センサー用シール材、空燃比センサー用シール材、ターボチャージャホース、または排気ガス再循環装置制御用ホースである請求項 2 記載の成形品。

【請求項 4】

(A) フッ化ビニリデン (a 1) と、テトラフルオロエチレン、ヘキサフルオロプロピレンおよびパーフルオロ (アルキルビニルエーテル) よりなる群から選ばれる少なくとも 1 種のパーフルオロオレフィン (a 2) と、シアノ基含有単量体 (a 3) との共重合体であるフッ化ビニリデン系エラストマー (ただし、フッ化ビニリデンの共重合割合は 20 モル % を超える)、および

(B) 硬化剤として 40 ~ 330 でアンモニアを発生させる化合物のみを含む硬化性組成物を製造するに当たり、

アンモニア発生化合物 (B) をアンモニア発生化合物 (B) に親和性を有する溶媒 (D)

の存在下で他の成分と混合することと、該アンモニアを発生させる化合物（Ｂ）が、尿素、尿素誘導体、無機アンモニウム塩、またはカルボン酸、スルホン酸またはリン酸よりなる群から選ばれる酸の有機アンモニウム塩またはこれらの２種以上の併用を含むことを特徴とする硬化性組成物の製造方法。

【請求項５】

溶媒（Ｄ）が、水、またはアンモニア発生化合物（Ｂ）に親和性を有する有機溶媒である請求項４記載の製造方法。